

西周著

致知啟蒙

演繹の上下考を運ぶ
あり
陶器の上下考を運ぶ法

□ 6
3089
1

77



門口6
號3089
卷1

西 周 著

明治七年
九月發兌

致知啟蒙

甘霖舍藏梓



致知啟蒙自序

余嘗遊於歐羅巴頗悉其事情所觀
目之以二字曰浩大若都邑府城若道路橋梁
若宮殿樓閣若廨署庠校祠宇教堂若幼孤啞
盲癩狂疾病諸院若分拆鑄鍛金銀硝磁諸工
廠若考古博物禽獸草木諸館園若銃砲船艦
海陸諸軍兵具戰器若瀛車電線驛遞銀行互
市諸場凡以觸目入耳者皆莫不愕然驚歎為

冊二
號三
函之

致知啟蒙

自序

甘霖舍

及退而考諸書史徵諸學術惘然自失惛然自
惑蓋其說之精微其論之詳確不啻繭糸牛毛
自覺有心力不能以包括智力不能以剖拆乃
又目之以二字曰精微夫此二義萬緒千端各
不同其方浩大者務於外其極將至於無際精
微者務乎內其極將入乎無間故從事于此而
有手滑處不免於生疎褊小之病誠為難也今
有兩得而兼之乎可謂獲魚與熊掌矣然獲之

必有道非朝夕之所能致也既而依致知之術
求本末相依因果相應之故講究之久思惟之
熟有一旦以心會曰精微者本也因也浩大者
末也果也能盡其精微故能致其浩大矣獨怪
世之耳學開化而口唱文明之徒能摸其浩大
而遺其精微嗟亦莫非培根之不問而求結果
之大耶然盡其精微蓋亦有方非審諸思惟之
始而詳諸論辯之際則不能也凡學術之論公

會之議狀師之訴判官之斷苟不軌範於此將
幾乎作室於路傍亦何保基礎之固累架層構
無傾覆之患乎此書今刊而公于世聊欲以供
大匠利器之用固難與浮躁要速成者語也

明治七年六月

甘寐舍主人識

- 一原學大旨
- 二文學園序
- 三學術考
- 四原申學域
- 五念區擬括
- 六命名定義
- 七鉤念引考
- 八五柱命題
- 九五屬彙類
- 十歷上套括
- 十一外延因包
- 十二同異表決

致知啟蒙第一卷

駿河 西 周 著

第一章 原學大旨

守テフ語ヲ言テ異テ説ナハ、大學ニ知ヲ致スト
 ナム云ヘル是ソイト能適ヘル此書ハ、歐羅巴ノ
 ロシカ[拉] *logica* 佛 *logique* 英 *logic* 日 *logik* 蘭 *de*
denkerkunde テフ學ヲ論ツラビテ、吾人ノ致知
 ノ法ヲ示サムトテ、マツロジカテフヲ、支那ノ語
 ニ翻シテ、致知學ト名ケツ、サルニ、致知ノ文字、大

天曰致知在格物朱子曰致知極也知猶識也推極吾心誠欲其知無不盡也格至也物猶事物窮至事物之理欲其極處無不到也

大學ノ上ニテハ物ニ格リサヘスバ自然ニ知ハ致ルレト云フ又致知學ノ上ニテハ物ニ格ルニ先ツ知ヲ致スレト云フ

學ノ面テニテハ致知ハ格物ニ在リトイヒテ此觀 [subjective view] ヨリ云ヘルト、彼觀 [objective view] ヨリ云ヘルトノ差メニテ、別ニ致知ハ術トテハナク、物ニ格リヌレバ、即チ知ハ致リヌト、見エヌレバ、爰ニ説ク格物ノマヘニ、致知ノ術ヲ先ニヌルトハ、少シク事カハリヌレド、ソハ言ヲ斷チ用フルモノカラ、拘ハラヌコトニコソ、サテ致知學テフハ、此日本ノ國ニモ、支那ニモ、昔ヨリ、サレ學ビノナキモノカラ、人イト朝ミ思フヘケレド、學ビノ道ニ、心ヲ寄ナム者ハ、何ノ學ビニモアレ、

得モ缺マシキ、手解キノ學ニテ、中ニモ、形而上ノ論ラヒニツキテ、此學ビノナカリセハ、數ノ學ビナクシテ、格物ノ學ヲ、事トスルカ如クナルヘシ、此學ビ、歐羅巴ニテハ、イト舊クヨリ、傳ハリツルコトニテ、カノ希臘ノ昔ニ、亞立斯度德テス、名高博識ニ創マリテ、之ヲロジカノ父トナム云ヒスル、サレド其著ハセル書ドモノ中ニハ、ギアレクチック [Saxlerky] トテ、其規則モ、オホカタニ見エタリト云フ、亞立斯度德ハ、カレノ紀元ノマヘ、三百八十四年ノ人ナリシガ、此學ビ、世々ニ傳ハリ、

レテ演題ノ法ニア
テ誠ムル也

思慮ノ法ト云ハタモ考
ヲ運用スル文ノ規則
ト云フコトナリ其
モ其物ニ依リ此方
其ノ考ヲ物ニ記レテ
人ニ示スト云フイマデハ
ハ成ラザルコトナリ
然レハ致知學ノ物ヲ考
ハ物ヲ弁ヘ其物ヲ其
ナリト知レコトナリ思慮
ノ法ニ依リテ其外ニ發
ザルモノ而シテ其ヲ文
ニ記レテ人ニ示スマデ
ハ成ラズ

涉ルモノ、如シナホコ
下ノナニテ裏命名
定義ノ弁見合スル
致知學ノ根柢ハ物ヲ
考フルト云フ本ナルコト
先ツ大抵ハ思慮ノ法
ト云フコト盡シテ其
ヲ考フル根柢ヲ説キ
ルヲナリ。○西先生説

テ、其理リニ合ヘルヤ否ヤヲ探ラム為メ、術ナリ
トナリ、譬ヘハ、數學ニテトアル數ノ幾ツ重ナリ
タルヤ、ハタ幾ツニ分タル得ルヤヲ求メムニハ
マツ書キ記セル符號ヲ設ケテ、之ヲ探ルカ如シ、
サルニ、此頃マテ、右ノ定義ニテ、傳ハリツルヲ、イ
ト近キ英國ノ碩儒合美拉頓氏、改メテ、思慮ノ法
ノ學 [Logic is the science of the laws of thought] ナリ
ト、定義ヲナム、定メツル、此定義モ、亦全ク合ヘリ
ト、謂ハレサリツレド、オホカタニハ從カハレタ
リ、ソハ名ノ意コソ、サルコトナレ、物ノ理リヲ、辨

マフルニハ、語ニ表ハレ、文字ニ書キ連ヌルナト
ハ抑、未ノコトニテ、思慮ヲ運フコソ、其本ナレト
レハ、思惟考索ノ理法ナリテ、ニテ、概略ハ合ヒ
タレト、ナホ全クハ、盡サズ、節ノアナルヲ、ソハ極
メテ細ヤカナル論ヒ、涉レハ、爰ニ漏ラレシツ
サテ、カク定義ナト、又ハ、彼此ノ規則ノ論ヒ、ナト
ニ就テ、近キ世ニハ、イテ詳カナルニ、至リヌレト、
大率ハ、變リモナカリツルヲ、此頃ノ碩儒、カクシ
ストムオフロシク [System of Logic inductive and
inductive] テフ、名立タル書ノ、著者ナル、約翰士、低亞

多彌爾氏ニ至リテ、大ニ其面目ヲ新タニセリ、
 今マテハ、唯論トノ理リヲ、試ムルヲテノ術ニテ、
 言ハ、黄金ノ良否ヲ見ルニ、カノ試金石ヲ用フ
 ルカ如クナリシヲ、彌爾氏ハ、新タニアル理リヲ、
 發明スルコトニ、用ヒタリ。是リ、近頃ノ致知學ノ
 新シキ發明ナル。今此書ハ、舊キ致知學ノ合率ノ
 諸法ノミヲ舉ケ、聊カ初學トナシ、其詳
 カナルコトハ、悉ク本ツ書ニ譲リヌヘシ
 第二章ニ文學關涉
 今トアル考ヘノ心ニ浮ヒタル隨ニ之ヲ人ニ傳

多彌爾特別ノ經驗ヲ集
 メテ一理ヲ成スルヲ
 云フ。下卷歸納用端ノ
 所ヲ合セ見

ハナムト、欲セハ、手ニテ傳ヘムカ、ハタ、足ニテ傳
 ヘムカ、コハ皆、依ルヘキ便ナラ子ハ、必ス三寸ハ
 舌ヲ待ツコト、言ヲ待スシテ著カリ、是此學ビハ
 名ニ言、又話ナトテフ意ヲ、含メル語ヲ、負スルコ
 トノ、由テ起レル所ニシテ、考ヘト、言トハ、イト親
 シキ族ヲニテ、動モスレハ、紛レ易キナンメリ、サ
 テ、カク、此ニツノ者ノ、イト近ク、相睦ベル關係カ
 ラ、又學ビノ序テモ、イト近ク、係ハレルコトアリ、
 ソハ、此致知學ニ、入りナムニ、言語文辭ノ學ナク
 シテハ、頗難キ業ニテ、猶足無ウシテ行キ、手無ウシ

又文人中ニハ文ヲモ道
 理ニ叶ハル事柄ヲ上キ
 ニシテリトス人アリコ
 ノハトリツク即チ文章
 科ニ属スルナリ
 西先生後

テ持ツニモ譬ヘツヘシ、サレハ、カレノ舊キ世々
 ヨリモ、此致知學ヲハ、文章科ノ、三ツノ學ヒノ、奥
 ノ學ヒトシテ、語科 [grammar] 文科 [rhetoric] 論科
 ナト立タリ、此ウチ、語科ハ、此方ノ、テニヲハノ調
 ヘナドニ均シク、文科ハ、文書ク道ノ、イト高キ際
 ナリ、サテ、論科ハ、即チ致知學ニテ、文章科ノ、精シ
 キ極ミトナムナシツル、コハ、實ニモ、サル理リニ
 テ、カノ考ヘテフ者ヲ、律スルニモ、文字ノ便リナ
 ラテハ、ナベテノ考ヘテ、終フヘクモアラス、其ナ
 ヘテノ考ヘテ、総ル文字テフハ、即チ考ヘテ寫セ

ル、唱フヘク、記ルスヘキ言ナルヲヤ、コハ、猶精シ
 クハ、奥ニ説キナム、サテ、カ、ル理リノアレハコ
 リ、此日本ニテモ、支那國ニテモ、文章ノ學ヒニ、秀
 テツル儕ハ、縱致知學テフ學ヒコソナケレ、其心
 ノ趣ク所ハ、イカデ、サル塚ヲ踏マテ、アルヘキ、ソ
 ハ今、此學果シタラム後ニ、爰ノモ、支那ノモ、能モ
 ノセル文ドモヲ、見ヨ、頗此學ヒノ法ニ、違ヘル節
 ノ、多カラムカハ、ナベテ、論ヒニ、涉レル語ハ、此則
 ヲ知ラス知ラスモ、自ラニ、踏ミツルヲ、サレト、今
 宗トシ言フ所ハ、カク睦ヒ係ハレル學ヒノ道ノ、

トモス。故、術ト云フヨリモ、學ト云フニ、重ク涉
リタレ、氏之、以テ、衆學ニ入ルル手解キ、ナシ
テ、アヲユ、事ノ理、考ヘ、定ムルモ、ナレハ、
術タルヲ免レ難シ。是レ、此道ハ、學、術ト云、涉
ルル差、ナレ、第、四章、原由、學域、
合、美、拉、頓、氏、說、三、致、知、學、ノ、思、慮、ノ、法、ハ、學、ナリ
ト、云、ビ、シ、如、ク、コ、ハ、吾、人、心、ニ、テ、ト、ナル、物、ヲ、考、ヘ
物、ヲ、辨、マ、ル、又、物、ヲ、定、メ、然、ル、ト、知、ル、テ、自
カ、ラ、去、ル、三、ツ、ノ、運、ビ、ニ、就、テ、其、法、ヲ、立、タ、ル、學、ト

致知學ノ範圍
辨ハ物ヲ然也ト論
知ニツノ通用ニヨルニ
本性理學中ノ一分
ヲ論ス

致知學ハ物ヲ考ヘ物ヲ

辨ハ物ヲ然也ト論

知ニツノ通用ニヨルニ

本性理學中ノ一分

ヲ論ス

○ 辨ハ致知學ノ範圍

○ 知ニツノ通用ニヨルニ

○ 本性理學中ノ一分

ニシテ、ア、レ、ハ、性、理、ノ、學、
「Psychology or mental philosophy」
トモ、自カラニ相連ナリタルハ云、モ更ナ
リ、殆、其中ノ一部トモ、謂フヘク、爰ヨリ其源ヲ分
ケ来リタルハ、言ヲモ、待サルヘシ、サレト之ヲ性
理學ニ較ヘナハ其境ノ、イト狭キモ、カラ之ト
相界ヒスル所ヲ分ツテ、要メナリトス、マツ、一ツ
ニハ、情、テ、ク、者、ノ、隣、レ、ト、思、ヒ、惡、シ、ト、思、ヒ、嬉、シ、ト
思、フ、ナ、ト、ハ、致、知、學、ノ、域、ヲ、外、レ、タ、リ、又、次、ニ、意、テ
フ、者、ノ、言、ハ、ム、ト、欲、シ、行、カ、ム、ト、欲、シ、カ、ニ、カ、ク、ニ、
為、サ、ム、ト、欲、ス、ル、類、ヒ、ト、ハ、タ、情、ノ、積、リ、テ、妬、シ、羨、

見テ、鴉ト知ル。ハ、コハソモ如何ナル知リニカア
ラム、ソレヲ見テ、ソレト知リ。ナハ無媒諦ニコソ
アチレサルヲ今横濱ノ童ヘニ、長崎ノ犬ヲ語り、
又長崎ノ童ヘニ、横濱ノ鴉ヲ語りテ、互ニ其犬
タルト、鴉タルトヲ知ラム。此長崎ノ犬ト、横濱ノ
鴉トハ、未ダ見サル者ナルヲ、今ナドテヨク其吠
エムトスルト其鳴カムトスルトヲ、知ルヤ、コハ
其心ニ、既ニ、犬ト鴉トアレハナリ、此心ノ上ノ、犬
ト鴉トニ依テカノ未ダ見サル、犬ト鴉トヲ知ル
之ヲ念Conceptionト云フナリ、此念ヨリ得タル

者ノ、正サシク致知學ニテ、使用ヒタル域ノ内ナ
ル、サレト、此念テフ者、直チニ成ル者ニアラス直
覺ノ積リテ、念トナルハ、猶種々ノ度ヲ經テ、カノ
蒸氣ノ變リテ、水トナリ又變リテ、氷トナル如ク、
漸クニ聚リ又漸クニ凝テ、一ツノ塊リトナルニ
至ルヘシ譬ヘハ、初テ犬ヲ見テ、其犬タルヲ知ル
ハ、是直覺ナリ、又再ヒ佗ニ犬ヲ見ニ、同レク犬タ
ルヲ知リ、又三度見、四タヒ見、カクスルコト、度重
レハ、犬ヲ見ストモ、犬ノ犬タルハ心ニ遺レルヲ
念ト名ケ、カクテ、一ツノ念ノ、佗ニ千萬ツニ、通ヘ

横濱ノ童子ガ長崎ノ
犬ヲ知リテ長崎
ノ童子ガ横濱ノ鴉ヲ
ナリト知ルガ如キコレヲ
括カト云フ即チ吾ガ既
有スル所ノ念ヲ以テ其
ノ所ノ物ノ形質ヲ圓リ
之ヲ概括スルナリ

概念ヲ以テ物ヲ概括スル
力即チ概括力ナリ
概念ノ働ナリ
觀念ヲ以テ物ヲ想像
スルカ即チ想像力ナリ
即チ
チ觀念ノ働ナリ

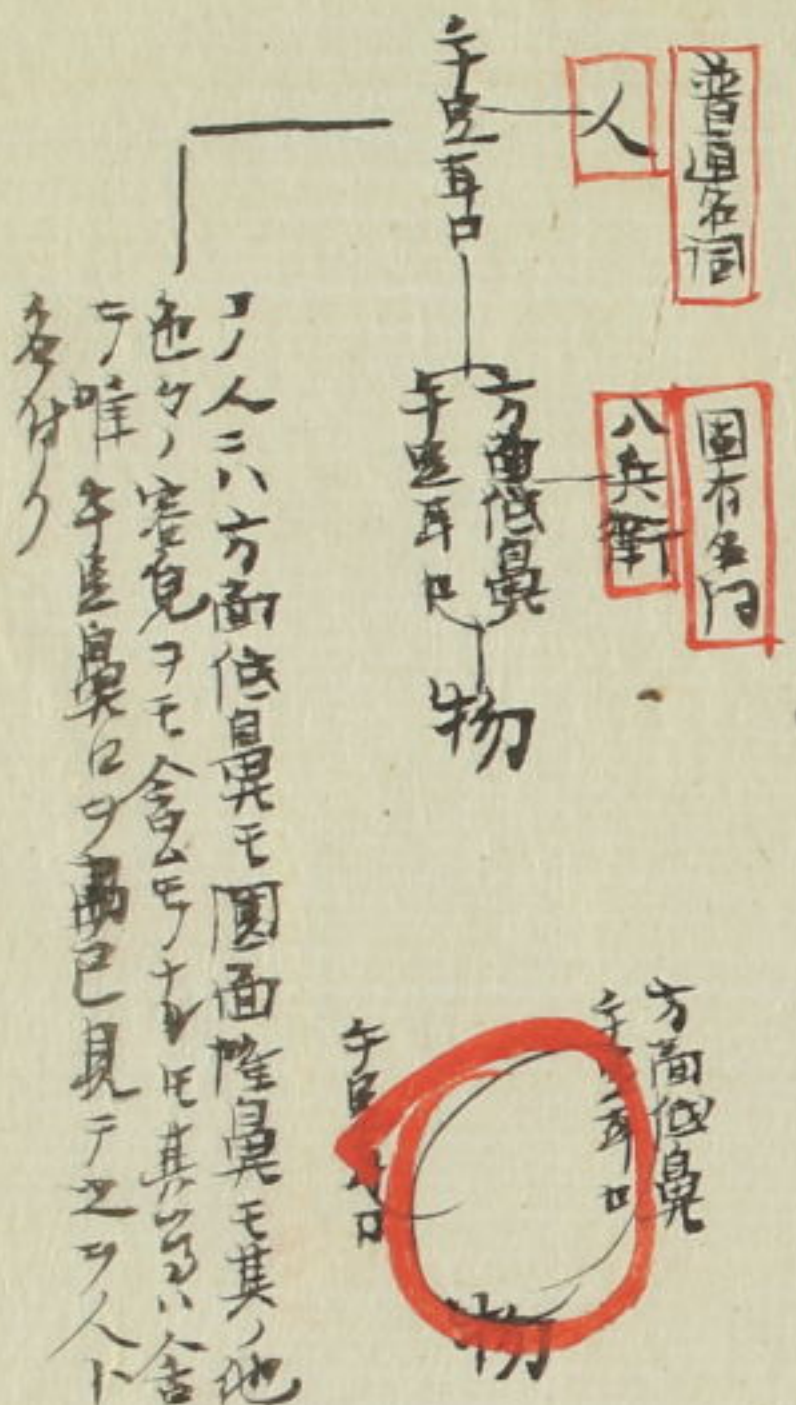
西先生説

概括力 概念 度量観
想像力 概念 形質観

△愛ニテ度量観形質観ハ概念ハ他物ニ通ズルヲウキト 概念ハ他物ニ通ズルヲウキト 概念ハ他物ニ通ズルヲウキト 概念ハ他物ニ通ズルヲウキト

ルヲ概括カ [power of generalizations] トナム云
フナル、是ヲ致知學ニテ、イト重キ司サ、勤メ勞
ツク者ナル、此概括力ニヨリテ、萬ツノ犬ヲ、犬ト
見、萬ツノ鴉ヲ鴉ト知リテ、今、蒸氣モ氷リト、結
スル時ナレハ、所謂知リノ始メテ、致知學ノ用ト
ニナム備フベカルナルニ又、此念テフ者ハ、外形
内質ノ備ハレル者ノ、我々心ニ、寫リタル者ナリ
ト雖モ、其物ノ外形内質ヲ、悉ク盡シ知ルニハ非
ス、唯其重ニ目立シキ標ノ、若于ヲ知ル、ミ、譬ヘ
ハ、神テフ念ハ吾人如何ニモ其外形内質ヲ、盡ス

後ノ命名定義ニ申テ見ルハ、極ハ又、度量観ト形質観ト、ニツク具フル、如シ仁ト云ハ
愛ニ理ト心ニ感トラ具ヘタルカ如ク、然ラバ、茲ニ度量観ニ就テ概念ト云ヒ又一種直チニ直覺キ、来リ
其ノ外形内質ニ係リ其ノ物ノ形月前ニ心ニ浮ル者ハ、多ク形質観ニ就テ概念ト云フト云ハ、一物、
上ニコノニツク念ガアリト云フテ乎、或ハニツクハ別ノ物トシテ普通名詞ノ極ハ概念ニヨリテ成タルモノ、固有名
詞ノ極ハ概念ニヨリテ成タルモノトスルニキ乎



長崎ニ在リ如キ物ヲ見
テ、即チ其ノ毛ハ赤班ニテ耳
ハ四五寸ナモ垂ル尾、長

此概念ノ類トニ、想像力 [imagination] ト云フアリ

改口致蒙

卷一

十一

廿保

元 形 及 量 直 其 通

○想意也 物未至而意
○概大率也
直チニ直覺
ヨリ来リ
其ノ直覺
ノ如ク春草
ヲ見テ直チ
其ノ直覺
ノ如ク春草
ヲ見テ直チ

横濱ノ童子ガ長崎ノ
犬ヲ大ナリト知リ長崎
ノ童子ガ横濱ノ鴉ヲ鴉
ナリト知ルガ如キコレヲ概
括カト云フ即チ吾ガ既
有スル所ノ念ヲ以テ其
ク新ノ物ノ形質ヲ測リ
之ヲ概括スルナリ

概念ヲ以テ物ヲ概括スル
カ即チ概括力ナリ
概念ノ働ナリ
観念ヲ以テ物ヲ想像
スルカ即チ想像力ナリ
+ 観念ノ働ナリ
西先生説

概括力 概念 度量観
想像力 概念 形質観

+ 譬々 犬ヲ犬ト知リ鴉ヲ鴉
ト知ルハ其ノ概ヨリモ大ニシ
馬ヨリモ小ニ其ノ吠声ハ
ワシト聞カカ 犬 又
其ノ形黒クニテ其ノ鳴ク音
カカト聞カカ 鴉 云々
其ノ物ノ形質上ニテ重ニテ
ル印ヲ知ルニ由ル耳決シテ
其ノ見タル大ヤ鴉ノ形質ヲ
悉ク知ルニ非ズ 犬ト云フ鴉ト云
フニモ同ナリ 其ノ見タル
ヤ鴉ノ形質ヲ悉ク知ルナリ
只決シテ他ノ犬ヤ鴉ニ通
ガニス今自巴ノ家ニ飼ヒ
オク所ノカメト云ル大ハ黒班
ニシテ耳ハ子ヲモ重ニ尾
逆カウニテモハ渦巻ノ如ク
シテハ形質観ナリ 圓
同ノ部ナリ而メ其ノ形ハ種々
モ大ニ馬ヨリモ小ナリ其ノ吠
声ハワシト聞カカト云フニテ
形質観ナリ 普通名詞
ノ部ナリト云ウレテ其ノ大ト云
フ念ヲ作リサテ或人ヨリ若
長崎ニテ左ノ如キ物ヲ見ツ
リ即チ其ノモハ赤班ニテ耳
ハ四五寸ナモ垂ル尾ハ長

ルヲ概括力 [power of generalization] トナム云
フナル、是ノ致知學ニテ、イト重キ司サ、勤メ勞
ツク者ナル、此概括力ニヨリテ、萬ツノ犬ヲ、犬ト
見、萬ツノ鴉ヲ鴉ト知リテ、今ノ、蒸氣モ氷リト、結
ル時ナレハ、所謂知リノ始メテ、致知學ノ用ト
ニナム備フベカルサルニ又、此念テフ者ハ、外形
内質ノ備ハル者ノ、我々心ニ、寫リタル者ナリ
ト雖モ、其物ノ外形内質ヲ、悉ク盡シ知ルニハ非
ス、唯其重ニ目立シキ標ノ、若于ヲ知ルノ、譬へ
ハ、神テフ念ハ、吾人如何ニモ其外形内質ヲ、盡ス

△ 爰ニ度量観形質観ハ概念ハ他物ニ通ズト云フヤウキト 概念ハ他物ニ通ズト云フヤウキトノ差ニ
由テ云ヘルヤウキト

ヘキ由アラ子ト、唯宇宙ノ主宰トシテ、萬有ノ元
始タルヲ、知ル耳、又聖人、賢人ナト云フモ、其外形
内質共ニ、人々ニテ、異リアレト、賢ハ、愚不肖ノ反
体ニテ、聖ハ、賢ニ勝レリテ、又知ル耳、ハ、度量
観 [quantity] ニ就テ、概念 [notion] トイフ、又一種直
チニ直覺ヨリ来リ、重ニ其外形内質ニ係ハリ、其
物ノ形、面リニ、心ニ浮ヘル者ハ、形質観 [quality]
ニ係ハリテ、観念 [idea] トイフ、是即チ、後ニ云フ通
フ名ト、專ラニスル名トノ差ノ、據テ起ル所ナリ、
此想念ノ類ニ、想像力 [imagination] ト云フアリ、

致知致蒙

卷一

十一

廿保八号

○ 概大率也
○ 想意也
物未至而意
也
直ニ直覺
ヨリ来リ
ス、苗ニ
ノ如ク、春
ヲ見テ直
其ノ属性
緑ナルト云フ

聞知念言
見識知念言

聞知
念言
見識

本末トハ其ノ物ノ形質ト
ト書キトテ先ヘ知リテ
[即チ念區極指ニ云ク
如ク身ノ物ノ性質ヲ知
テ其ノ名ヲ付ル] 其
ノ名ヲ付ルハ自然ナレド
人文ニ開ケ萬物ノ名
具ハル日ニ生タレモハ
亦ダ其ノ物ノ性質ヲ
詳ニセズレテ先ヘ其ノ名
ヲ知ルナリ故ニ其ノ
名ヲ知ルニ付テ其ノ物
ノ性質ヲ明ニ知ルニ付
要アリコレ定義ノ最モ大切ナル事ナリ

若クハ其物ニ象リタル、
書セル言ト名ケ、此書セル言ハ、
ツキ、唱ヘタル言ハ、直覺ヨリ得タル念ニ本ツキ、
念ハ物ヲ知ルヨリ出ツ、サレハ、トアル物ヲ、書セ
ル記號ヲ以テ、人ニ示サムト、思フ時ハ、四ツノ媒
テヲ歴テ、始メテ能、其心ノ至キヌヘシ、コハ、
望鏡ノ物ニ向フ玉アリ、眼ニ當ル玉アリ、又中身
ニ種々ノ玉アリテ、能、微カナル遠ケキ物ヲ、見分
ルカ如シ、致知學モ、右ノ四ツノ玉ヲ備ヘテ、始メ
テ、微カニ隱レタル理ヲ、能、見分キ、知リ分クヘ

物ノ形ノ通り念ヲ作ル
アトハサレト念ノ通り言
スアトハサレトニツ
逆サニ言ノ意ヲ念ニ附
トリ得サレト云フハ大方他人
ノ言ヲ念ニ付テ得サレト
云フナラン然ラハ物ノ物タル
所ヲ念ニ付テ得サレト云フハ
同意ナリ

キニナン、サレト、眼鏡ノ玉人良カラサルハ、
形
チノ真トテ、失ハレムル如ク、四ツノ媒チノ違ヒ
ヨリ、又理リノ真トテ、頭ハサヌコト、イト多カレ
ハ、**定義ノ術**ノイト重カル、サレハ、此四ツノ媒チ
ハ、各其目サス所ノ物ト、一ツ意ナルヘシ、中ニモ
動モスレハ、其間タニ、違ヒノ出来易キハ、物ト念
ト、念ト言トニレテ、物ノ物タル所ヲ、念ニ付テ得
サルト、又**逆**サマニ、言ノ意ヲ、念ニ酌ミ取り得サ
ルトナリ、**故**ニ、若違ヒアリト知ラハ、物ヲ真トト
シテ、是ニ照シ合セ、其念ヲ直スヘキナリ、サレト、

致知居蒙 廿 藤 録

念^〇作^〇リ。サ^〇テ。之^〇ヲ言^〇ニ陳^〇ヘ。記^〇號^〇ニ布^〇ク運^〇ヒ。序^〇デ。知^〇リ。リ^〇ル。ニ。カク種^〇々ノ媒^〇ヲ。經^〇テ。記^〇號^〇ニ布^〇クニ至^〇リ。タ^〇リ。トモ。單^〇ナル念^〇ニテハ。致^〇知^〇學^〇ノ用^〇ニ供^〇フヘキニアラス。譬^〇ヘハ。犬^〇ヲ犬^〇ト題^〇シ。鴉^〇ヲ鴉^〇ト題^〇シ。タ^〇リ。トモ。何^〇ノ理^〇リ。人^〇。明^〇カシ。ト。ナルヘキカハ。コハ唯^〇直^〇覺^〇人^〇。念^〇トナリ。タ^〇ルヲ言^〇ニ題^〇シ。タルマテナリ。イデ。聊^〇カ前^〇ニ云^〇ヒサレタル有^〇媒^〇諦^〇ノコトニ。立^〇テ。反^〇リ。テ。論^〇ラ。ヒ。ナム。前^〇ニ第^〇三^〇章^〇ニ。例^〇シ。ニ。ト。テ。舉^〇タル春^〇ノ草^〇。秋^〇ノ楓^〇ノ如^〇キハ。之^〇ヲ念^〇ヨリ取^〇ル時^〇ハ。却^〇テ致^〇知^〇學^〇ノ題^〇ニモ命^〇ス

〇第四章 學界

上ヲ念^〇マ^〇リ云^〇ケ^〇 コレハ今^〇眼^〇前^〇
ニ見^〇ルニ非^〇ズレテ我^〇記^〇號^〇
中^〇ヲ考^〇ヘハカ^〇ク春^〇ノ草^〇
ハ緑^〇リ。ナ^〇リ。キ^〇カ^〇ノ秋^〇ノ楓^〇
ハ紅^〇リ。ナ^〇リ。キ^〇ト云^〇フ

上^〇ナル同^〇知^〇シガタキ理^〇
アルヲ下^〇ナル同^〇ニテ明^〇
ニシタルハ。行^〇トナ^〇リ。ス^〇
ヲ晰^〇スル。行^〇トナ^〇リ。ス^〇
キ

ヘキナリ。譬^〇ヘハ。春^〇ノ草^〇ハ。緑^〇ナル者^〇ナリ。又^〇秋^〇ノ楓^〇ハ。紅^〇ナル者^〇ナリ。ナトノ如^〇シ。サレド。コハ。無^〇媒^〇諦^〇ニ嫌^〇ヒアリ。且^〇イト知^〇リ易^〇キ理^〇ナレハ。何^〇程^〇ノ價^〇直^〇モアラス。必^〇ス上^〇ナル言^〇イト知^〇レ難^〇キ理^〇リアルヲ。下^〇ノ言^〇ニテ。説^〇キ明^〇シタル時^〇ニ。理^〇リ。證^〇シトモ。ナルヘキナリ。譬^〇ヘハ。神^〇ハ。聰明^〇正直^〇ナル者^〇ナリ。又^〇郷^〇愿^〇ハ。徳^〇ノ賊^〇ナリ。ト。カク神^〇テフハ。イト不可^〇識^〇ノ者^〇ナレド。隱^〇微^〇ノ所^〇ハ。得^〇モ知^〇リ能^〇フマ。又^〇舊^〇惡^〇ナトアリ。ツラムニハ。忘^〇レモヤラテ人^〇ニ依^〇ナフ者^〇ナルラシト。疑^〇ヒノアル間^〇ニ。

致知蒙 卷一 十五 廿 藤 録

聰明ト断ハリテ、隱微モ遺スコトナキヲ明シ、又
 正直ト断ハリテ、過惡アリツレ尺、改ムレハ、其咎
 ノヲ免ス者ナルヲ明シ、又郷愿ハ、世ニモ譽レア
 リテ、郷黨ニテモ、人皆信スル者ニテ、其行ヒノ有
 徳ニ、紛ル、モノカテ、徳ノ賊ナリト、断ハル類ヒ
 ニ、コソ、アナク、カク上ノ念ト下ノ念ト、相待テテ
 其間タニ、知ル所アルヲ、有媒諦（註）mediate cognition
 [inference]トハ云フナリコハ上ノ郷愿テフ
 言テ、知ルニテモナク、又下ノ徳ノ賊テフ言テ、知
 ルニテモナク、唯郷愿ヲ、徳ノ賊ナリト、知ルコト

西先生注
 郷愿ト云フ道理ヲ一ヲ知リ
 斗テ又徳ノ賊ト云フ道理
 理ヲ一ヲ知リ申シ、是レ未
 父郷愿ガ徳ノ賊ナリ
 ア否、知ルベカラズト云フ
 有媒諦ト云フコト、知原
 ト、徳ノ賊ト云フコト、知原
 郷愿ト、徳ノ賊ト云フコト、知原

郷愿ヲ徳ノ賊ト知ルハ
 似テ非アルモノト云フ媒諦
 ヲリ、其媒ハ、濁題ニテ
 中極ト云フモノナリ
 此知ルト云フハ、知リテ念
 テ作ルニ非ズ、唯此ヲ以
 テ彼ナリト知ルナリ、但
 シ此ヲ以テ彼ナリト知
 タル上ノ其人事マツ
 ノ念トナリ、ホカ知レ何如

孔子曰、過我門而不入、我
 我不憾焉、者、其惟郷愿
 乎、郷愿、徳ノ賊也、曰、何如
 斯、可謂之郷愿矣

萬章曰、一郷皆郷愿人
 焉、無所往而不為郷愿
 孔子以爲徳ノ賊、何如
 日非也、無事也、刺也、無
 也、同乎流俗、合乎汙世、居
 之以思信、行之以廉潔、衆
 衆皆從之、自以為是、而不

ニテ、此知ル。テフハ、知リテ念ヲ作ルニハアラス、
 作リタル念ヲ合セテ上ノ念ト下ノ念ト相係ハ
 ル。理リテ知ルコトニゾアナナル譬ヘハ、郷愿ノ郷
 愿タルハ、誰ニモ尋常ノ人ニモ知レタルコトナ
 リ、又有徳ノ人ハ、妨ケトナル者ヲ、徳ノ賊テフモ、
 誰ニモ知レタルコトナリ、サレト、令郷愿ハ、イト
 誠アリケニテ、誰ニモ譽メラル、者ナレハ、之ヲ
 徳ノ賊ナリテフハ、世ノ常ニ辨ヘ難キコトナリ、
 是ヲ以テ萬章ガ輩モ尚ニツノ念ノ人相係ハル理
 リテ、曉リ得サル程ナリケレハ、之ヲ孟子ニ疑問

極 (Term)

ケタル例シノ如ク、イハ、ロナリト命スルニテ上、
ニ、物ノ名一ツ、下ニ物ノ名一ツナリ、此物ノ名ハ、
前ニ云ヘル念ヲ、寫シタル名ニテ、此學ヒニテハ、
名ト謂ハス、又言ト謂ハス、之ヲ極「Term」ト謂フナ
リ、ソハ、語學ニテハ、言ニ種々ノ別チアレト、爰ニ
テハ、引キ概ノテ極ト云ヒ、唯一ツニ纏メタル、念
ノ標シト、見ルナリ、譬ヘハ、只犬トノ、イヒテモ、
一ツノ念ナリ、又白犬トイヒテモ、アルハ吾家ノ
犬トイヒテモ、皆一ツノ念ノ識シト見、語學ニテ
形質言指示言ナト、分チタルモ、又佗シ書キ廻シ

主位 屬
predicate subject

肯定 (affirmative)
否定 (negative)

ヲモ、皆概ノテ、極ト謂フナリ、此極上ノイ文字ノ
位ヲ主位「subject」ト名ケ、題ノ重ナル念トシ、下ノ
ロ文字ノ位ヲ屬位「predicate」ト名ケ、主位ニ屬
セル念ナリトス、サテ、下ノナリテ言テ、定言「
predicate」トナム云フ、コハ、我カカクナリトカ、カクニ
アラストカ、斷リタルヲ、示ス者ナリ、ナリハ、語學
ニテ、ニアリノ約ノ、ニテハ、ニテアリノ約ノナ
レハ、肯定「affirmative」ニテ、イハ、ロニテアルゾ
ト定ムル言、且時モ第二ノ現在ニテ、物ノ續キタ
ルヲ示シ、ナヘテ道理ヲ説クニ、イト當レリ、又否

定。[negative]ニテハ、ニ。ア。ラ。サ。ル。ナ。リ。ト。書。タ。ヘ。シ。
イ。ハ。ロ。ナ。ラ。サ。ル。ナ。リ。ニ。テ。ハ。カ。リ。ナ。ル。ナ。リ。ト。シ。ニ。嫌。
ハ。シ。ケ。レ。ハ。初。ノ。ニ。音。便。ニ。テ。約。マ。リ。タ。ル。ヲ。ニ。ア。
ラ。ズ。ト。別。ツ。ヘ。キ。ナ。リ。否。定。ノ。下。ノ。ナ。リ。ハ。是。亦。定。
言。ナ。レ。ハ。ナ。リ。又。主。位。ノ。下。ノ。ハ。文。字。ハ。他。シ。國。ノ
言。ニ。ハ。カ。ル。テ。ニ。ヲ。ハ。ナ。ケ。レ。ド。我。國。ノ。言。語。ニ
テ。正。例。ニ。テ。ハ。之。ヲ。用。フ。ル。ヲ。當。レ。リ。ト。ス。ハ。區
別。ノ。助。語。ト。テ。彼。ハ。斯。々。ナ。リ。ト。モ。此。ハ。然。ナ。リ。ト。
定。ム。ル。心。ニ。テ。イ。ト。カ。ラ。ア。リ。正。例。ニ。テ。ハ。他。シ。テ
ニ。ヲ。ハ。ス。通。ハ。シ。用。フ。ヘ。キ。ニ。ア。ラ。ス。ハ。文。字。ハ。

釣引ノ通用トハ其ノ極ヲ其ノマ、據ユオキテ其ノ中ヨリ属位ヲ被キ出ス

釣引ノ通用ヲ形質觀ニ本ツク者トス何ノ故ゾ曰クハ、
質ヲ知リエラレタル者(即形質觀也)ナホ命區極格ヲ見合ヤシノ内ヨリ其ノ属性中ノワラ釣引出シ顯ニ命ノ
ルニ由テナリ但し是ノ通用ハ之ヲ念マテ取テスルモトス若シコレヲ眼前ニ見ハスニ申テ此如何ク顯ニ命也ハ見
レ直實ヨリナリ也無嫌諦(此顯) 譬言春草ヲ見テ緑ナリト知んカ如シ(此知) 春草ヲ見テ緑ナリト知んカ如シ(此知) 春草ヲ見テ緑ナリト知んカ如シ(此知)
アエ九丁東行の由存城のナ四アウラ釣引考ノ所ヲ見合スレ(其物ノ形質ヲワトリ出シテ顯ニ命スルニ至) 其物ノ形質ヲワトリ出シテ顯ニ命スルニ至(其物ノ形質ヲワトリ出シテ顯ニ命スルニ至)
又按ズルニ物ニ依リテハ其ノ属性ヲ盡ク知ルヲ能ハサルアリ譬ハ月ト云モ、属性ハ圓レ階レ明カナドノ三ツヲ
以テ盡シタリトス(カス然レハ子ノ通用ニ能クハ現ニ知リ得ん丈ノ属性ヲ以テ其ノ物ノ外形内質ヲ盡シ
タリトスんナリ) 其物ノ形質ヲワトリ出シテ顯ニ命スルニ至(其物ノ形質ヲワトリ出シテ顯ニ命スルニ至)

又按ズルニ此書ニコノ通用ハ明ニ形アル実物ニ限ん如ク云ヒテアレトコハ左ノ三拍ハルベギニテラサラシ字ヲシトシ
無形ノ物ニテモコノ通用ハアルベギハツナリ(無形ノ物ニテモコノ通用ハアルベギハツナリ) 無形ノ物ニテモコノ通用ハアルベギハツナリ(無形ノ物ニテモコノ通用ハアルベギハツナリ)
此書ナレハ此無形ノ物ニテモ其ノ属性ヲ盡ク知ルヲ能ハサルアリ(此書ナレハ此無形ノ物ニテモ其ノ属性ヲ盡ク知ルヲ能ハサルアリ) 此書ナレハ此無形ノ物ニテモ其ノ属性ヲ盡ク知ルヲ能ハサルアリ(此書ナレハ此無形ノ物ニテモ其ノ属性ヲ盡ク知ルヲ能ハサルアリ)

状性質功用ナトナヘテ何ニマレソレニ附キタ
ル者ハ悉ク其中ニ含ミタリト考フヘキ言ニテ、
譬へハ月トイハ、圓カナリテフモ明カナリテ

定。[negative]ニテハ、ニ。ア。ラ。サ。ル。ナ。リ。ト。書。ク。ハ。シ。
イ。ハ。ロ。ナ。ラ。サ。ル。ナ。リ。ニ。テ。ハ。カ。リ。カ。ル。ナ。リ。ト。嫌。
ハ。シ。ケ。レ。ハ。初。ノ。ニ。音。便。ニ。テ。約。マ。リ。タ。ル。ヲ。ニ。ア。
ラ。ズ。ト。別。ツ。ヘ。キ。ナ。リ。否。定。ノ。下。ノ。ナ。リ。ハ。是。亦。定。
言。ナ。レ。ハ。ナ。リ。又。主。位。ノ。下。ノ。ハ。文。字。ハ。他。シ。國。ノ
言。ニ。ハ。カ。ル。ル。テ。ニ。ラ。ハ。ナ。ケ。レ。ド。我。國。ノ。言。語。ニ
テ。正。例。ニ。テ。ハ。之。ヲ。用。フ。ル。ヲ。當。レ。リ。ト。ス。ハ。區
別。ノ。助。語。ト。テ。彼。ハ。斯。々。ナ。リ。ト。モ。此。ハ。然。ナ。リ。ト。
定。ム。ル。心。ニ。テ。イ。ト。カ。ラ。ア。リ。正。例。ニ。テ。ハ。他。シ。テ
ニ。ラ。ハ。ス。通。ハ。シ。用。フ。ヘ。キ。ニ。ア。ラ。ス。ハ。文。字。

演繹法ハ歸納法ノ如ク
主位ノ極ヲ一塵上ケテ見
又塵下ケテ見ルヤウアル
トナク今得タル主位ヲ
ヲ以テ歸納カカルモノトシテ
ケニ其属位ヲ求ル也
故ニ明ニ眼ヲ以テ見ルハ
モノカサナクトモ心ヲ以テ明
ニ計リウキキテ是非ハバ
不可ナリ

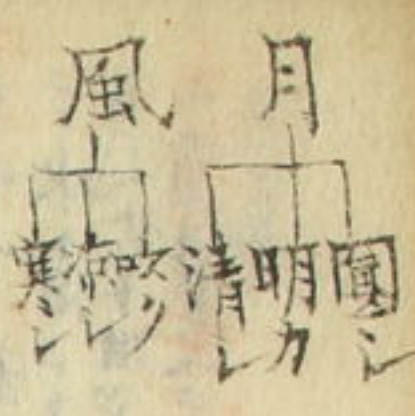
釣引即
演繹法

其具ハテ
テ清シトカ明ラケトカ
ルナリ又歸納法ニテハ
月トカ主位トスルハ
其具ハテ
全ク是レニ類同ナリ
テ行ハレテ天造物
テ水トシテ清シク
日トシテ明ク
ル實ニ是レニ類同ナリ

第九章 主属彙類

第六章ノ終リニ言ノ定義ノコトヲ説キツ、今ハ、
主位ト属位トヲ別チテ、其致知學ニ係ハル法ヲ、
詳カニ論ラセナム、其一ツ、形質觀ニ本ツク者ヲ、
釣引 [deductions] ノ運用ト云フ、此運用ニテハ、主
位ノ言正シキ形アル物ノ名ナルヘシ、正シキ形
アル物トハ、其實體ヲ一ツ舉テ、是ニ附キタル形
狀性質功用ナト、ナヘテ、何ニマレ、ソレニ附キタ
ル者ハ、悉ク其中ニ會ミタリト考フヘキ言ニテ、
譬ヘハ、月トイハ、圓カナリテフモ、明カナリテ

釣引ノ運用トハ其ノ極ヲ其ノマ、據エオキテ其ノ中ヨリ属位ヲ抜き出ス
運用ナリ
套插ノ運用トハ其ノ極ヲ其ノマ、据エオキテ他ノ持チ行キテ其ノ属位ナルキ
モノト上ヘオキ
插ノ運用ナリ



其属を形チ生シキ
ハタラキナドク名分ト明ニ知
リ得ラレリ言フ以テ主位
トナスレリ物リハツリ出ス
テ主位其主位トナリ也
其属位ヲツリ出スレド
但レ月ハ清キ者也風ハ
清キ者也ト云フ三月ヤ
スレド生員トナリ也

套指 運角ヲ度量觀ニキツ者
性ヲ盡ク知リエテ名付ケタルモノトセズレバ僅ニ其属性中ノ重キタルモノヲ知リエテ其ニ由テ名付ケタルモノトス
ルニ由テナリ 舍區極指具見
又按ニ形質觀ニテハ其ノ物ニ執ラ直ニカウ知ルハ定ムルニテ「即チ物リ」其ノ極ヲ他所ニ移ス分ラズト魚氏
度量觀ニテハ元素其ノ極ノ名其属ニツクテ属性ニ由テモ知ルモノニテ云フ目方ノ輕キヲトテ他所ニ移
ス「ツ」エラレテ分解總合ノ二法ニ用ルン「ツ」エラレナリ

致知學ハスニ套指法
用ルルニヤ
世ノ考ハハ物リ套指
ノ二法アレバ致知學ニハ
套指ノ二法ニヨルニカ
キ「ツ」ナリト断スル
見テ居ルハ月ハ清
見テ居ルハ月ハ清
清キト云フモノハ部
下ナリトシテ月ハ清

或又コノ系ノ如ク其
形質「物リ」
度量 套指
形質「物リ」
度量 套指
或又コノ系ノ如ク其
形質「物リ」
度量 套指

フモ、又清シ。テフモ、其中ニ含メリト考へ、又風ト
イハ、吹ク。テフモ、涼シ。寒シ。テフモ、其中ニ籠レ
リト考フルカ如シ、カク月トカ風トカ、名サシ舉
ケテ極トスル物ヲ實體「substances」ト云ヒ、何ニ
マレ、其實體ニ附キタリト考フル者ハ、
属性其實體

ト名ク、此法ヲ運用スルニハ尚預メ知ルヘキコ
トアリ、之ヲ彙類「classification」ノ法ト云フ、此
彙類ノ法ヲ運用スルニ、共ニ知ルヘキニ通リノ
運用法アリ、其一ツヲ分解法「analysis」ト名ク、
他レ一ツヲ総合法「synthesis」ト名ク、ナヘテ、何
ニマレトアル考ヘテ得ル時直チニ之ヲ用フヘ
キニアラス、マツ、此ニ通リノ運ヒニカケテ、アル
ハ、合セ見、アルハ分チ見テ、其念ハ他ニ念ト、相係
ハル理リテ、求ムヘシ、譬へハ草トイハ、木ト分
チ考へ、人トイハ、獸ト分チ考へ、又人ト獸トヲ

見テ属位ヲ求ルル属法ノ如ク彙類ノ法ナドハ不用ト覺エテ考ヘル
君子ハ義ニ論ル者ナリト伊勢ノ人云義ノ論者ナリト山城ノ人云義ノ論者ナリト
長ニ論ル者ナリト曾空居タルハ一武義ノ人ナリト如キ行ヲモハ高武義ノ人ナリト
下ニ云フレコレ属位ノ理ヲ先ニ知リ居テ主位ノ理ヲ後ヨリトシテ合スルナリト故ニ主位ヲ

不詳總合
二法ハタ
彙類ノ法
ヲ運用ス
ルニカ
又彙類ノ
法ハタ
套指即
属法ト
至ルニ
路カ

致知學ハスニ套指法
用ルルニヤ
世ノ考ハハ物リ套指
ノ二法アレバ致知學ニハ
套指ノ二法ニヨルニカ
キ「ツ」ナリト断スル
見テ居ルハ月ハ清
見テ居ルハ月ハ清
清キト云フモノハ部
下ナリトシテ月ハ清



鉤引考ハ、實躰多ク其
 其ニ屬スル形ヲ生シキ
 ハタラキト云フ。明ニ知
 リ得ラレシ言ヲ以テ主位
 トナス。レ、鉤引ハ、主位
 先ニテ其主位ニテ
 其屬位ヲツリ出ス。也
 但レ月ハ清キ者也。凡ソ
 キ有也。ト云フ。月ハ清
 ス。テ、性價ヲ盡シ
 非ナシ。

鉤引即、演繹ハ先
 屬位ノ理ヲ其研ニ
 キコトハ主位ノ理ヲ先
 ツルモノナリ。ト云フ。類
 法トドハ、用ナレバ、キカ
 月ハ清キモノナリ。ト云
 先清キト云フ。ト云
 知リテ居ルハ、月ハ清
 見テ居ルモノハ、月ハ清
 清キト云フ。ト云フ。部
 下ナリト云フ。月ハ清

キモノナリト云フ。ト云
 致知學ハ、スニ、套挿法
 用ルルニヤ
 世ノ考ハ、鉤引套挿
 ノニ法アレハ、致知學ニシハ
 套挿ノニ法ニヨリ、ニ法

形質ノ鉤引
 度暈套挿
 或又コノ系ノ如ク其
 ニアルコトヲ云フ

フモ、又清シ。テフモ、其中ニ含メリト考へ、又風ト
 イハ、吹ク。テフモ、涼シ。寒シ。テフモ、其中ニ籠レ
 リト、考フルカ如シ、カク月トカ風トカ、名サシ舉
 ケテ極トスル物ヲ、實體 [substances] ト云ヒ、何ニ
 マレ、其實體ニ附キタリト、考ハル者ヲ、屬性 [attributes]
 屬位ニ其實體ニ屬スル物トシ、命題ノ一法ヲ得、主位正
 清シト云フ。此考ヘヨリ、命題ノ一法ヲ得、主位正
 シキ形ノアル實體ナレハ、其中ヨリ、一種ハ屬性
 屬位ニ其實體ニ屬スル物トシ、命題ノ一法ヲ得、主位正
 者ナリ。君子ハ義ニ喩ル者ナリトナリ。如シ、又其
 一ツ、度量觀ニ本ソク者ヲ、套挿 [inductions] ノ運用

君子ハ義ニ喩ル者ナリト云フ。此考ヘヨリ、命題ノ一法ヲ得、主位正
 長ニ喩ル者ナリト云フ。此考ヘヨリ、命題ノ一法ヲ得、主位正
 下ニ属レシレ、屬位ノ理ヲ先ニ知リ居ル主位ノ理ヲ後ニ知リ居ル主位ノ理ヲ

ト名ク、此法ヲ運用スルニハ、尚預メ知ルヘキコ
 トアリ、之ヲ彙類 [Classification] ノ法ト云フ。此
 彙類ノ法ヲ、運用スルニ、共ニ知ルヘキニ、通リノ
 運用法アリ、其一ツヲ、分解法 [analysis] ト名ク、
 他レ一ツヲ、總合法 [synthesis] ト名ク、ナヘテ、何
 ニマレ、トアル考ヘテ、得ル時直チニ、之ヲ用フヘ
 キニアラス、マツ、此ニ、通リノ運ヒニカケテ、アル
 ハ、合セ見、アルハ分チ見テ、其念ハ、他ニ念ト、相係
 ハル理リテ、求ムヘシ、譬ヘハ草トイハ、木ト分
 テ考ヘ、人トイハ、獸ト分チ考ヘ、又人ト獸トテ

致知學ハ、スニ、套挿法
 用ルルニヤ
 世ノ考ハ、鉤引套挿
 ノニ法アレハ、致知學ニシハ
 套挿ノニ法ニヨリ、ニ法

八兵衛ノ考
 内實ヲ見テ
 實觀ナリト云フ
 八兵衛ニ其屬
 七九者ニ云フ

スキト云フ
 キモノト云フ
 手ヲテ月
 見テ居ル
 人キト云フ
 人キト云フ
 人キト云フ
 人キト云フ

不詳總考
 二法ハ、ト
 彙類ノ法
 ヲ運用スル
 又彙類ノ
 法ハ、ト
 歸納法ハ、
 至ルニテ、
 路カ

属性
上行 下行 獸
カクノ如ク属性ハ
モ三層ニ分テ下
行

右ノ如ク属性ハ
ニ通ス
氏再上行ハ通
ハ
四足アルモノナリ
ノ魚ハ動物ハ四足
ナリトハ云カ
又歴下リテハ固
有各名
ハ四足アルモノ
ナリトモ云
右ノ四足アリ
ナドノ属性ハ
極ノ属性ナリ

又ツラヤ下
上ノ属性ト
名ナリ
ハ馬牛羊ナ
モ四足アリ
道厚ヲ知ラ
属性トモ云
ナリ

同ノ鴨中ニ
又一人間
悪人ト賢人ト

ル考へハ、アルトアル天、地ノ間タノ、物ニ當リテ、
虚體ニモアレ、實物ニモアレ、人ノ心ノ考へニ、ハ
マル程ノ事ハ、何カハ、此域ヒラ道ルヘキ、今試ニ
免テフ念ヲ、此考へハ、本トナシナハ、免ハ、獸ノ一
ツテフ考へ出来ノリ、此考へヨリ、外ニ、推シタラ
ハ、鹿、猪、猿、狼、狐、狸、貉、猫、鼠ナト、俄カニ算ハ盡スヘ
クモアラサル、數多ノ念出来タリ、サテ、之ヲ総テ、
一段歴上リヌレハ、唯一ツノ獸テフ念トナルナ
リ、今此獸ヨリ、外ニ推シテ、其類ヒラ免テナハ、魚ノ
類、鳥ノ類、蛇、龜ノ類、ハタ人ヲモ加ヘナハ、動物テ

又ツラヤ下
レカレハ
ナド云フ
動物ト云フ
名ハ其
ノ属性
ヲ考
ル
モ云
フ
ナリ
トモ
云
フ
ナリ

フ念ノ出来ノリ、サテ、動物ハ、植物ト相並ヒテ、機
性體トナリ、機性體ハ、無機性體ト並ヒテ、同レク
天造物トナルカ如シ、コモ亦歴下リテ、考ヘタラ
ハ、今解法ナルコト、言ヲ待ス、サテ、カク歴上リ、歴
下リ総合分解ヲ試ミタル上ニテ、如何ニト云フ
ニ、必ス三通リノ差ノヲ得ヘシ、ソハ上行、下行、同
行ナリ、譬へハ、獸ハ鳥トハ、同行ナリ、鳥ヨリ動物
ハ上行ニテ、鳥ヨリ鶴ハ下行ナリ、又是ニ擬テハ
テ、再重上行、三重上行、又是ト相反ナルモアリ、サ
レト、此中ニテ要ナルハ、上行ト下行ニテ、舊ク

以テ解法合得事下三行

ッ、君人キカクフン
 屬人ト主位トシテ考
 下リテ上リテノ屬性ヲ
 仁義ノ性ヲ備
 ハ道徳ニ依テ勤ク或
 ハ肉教并ニ食ヲ性ヲ
 具フナド種々ノ屬性
 出テテコレモ人ノ分
 内ナリコレモ人ノ分
 リト云フユ直自ラ人ト云
 主位ノ内ノ廣クテ
 屬人トシテ考
 屬人ノ念愈増
 定ルト云フ又
 即内包ノ
 考テ

ヨリ、上行ヲ類 [genus, pl. genera] ト云ヒ、下行ヲ種
 [King & pl. species] ト云ヒテ、差メヲナムナシツル、
 カク考ヘノ、ハキト極リタルヲ、彙類ノ法ト名ケ、
 カクテコソ、此學ヒノ上、ニテ、取アツカフヘケレ
 第十章 歷上套挿 集白凡物重省者為套挿
 上ニ謂ヒシ、彙類ノ法ニ就テ、尚心ツクヘキコト
 アリ、ソハ、歷下リテハ、實體ノ念愈増、下行 屬性ノ念
 愈減リテ定リ、又歷上リテハ、實體ノ念愈減リテ
 定、上行 屬性ノ念愈増シテ廣クナルナリ、此考ヘヨ
 リ、套挿ノ法ヲ得、主位ノ言ハ、種名ニテ、下行ナル

歴人ヲ加
 トシテ考
 ハ仁義ノ性
 ハ道徳ニ依
 テ勤ク或
 ハ肉教并ニ
 食ヲ性ヲ
 具フナド種
 々ノ屬性
 出テテコレ
 モ人ノ分
 内ナリコレ
 モ人ノ分
 リト云フユ
 直自ラ人ト
 云
 主位ノ内ノ
 廣クテ
 屬人トシテ
 考
 屬人ノ念愈
 増
 定ルト云フ
 又
 即内包ノ
 考テ

歴下リテ上リテノ
 屬性ヲ
 仁義ノ性ヲ
 備
 ハ道徳ニ依
 テ勤ク或
 ハ肉教并ニ
 食ヲ性ヲ
 具フナド種
 々ノ屬性
 出テテコレ
 モ人ノ分
 内ナリコレ
 モ人ノ分
 リト云フユ
 直自ラ人ト
 云
 主位ノ内ノ
 廣クテ
 屬人トシテ
 考
 屬人ノ念愈
 増
 定ルト云フ
 又
 即内包ノ
 考テ

主位トシテ考
 テソノ理ヲ明
 ラカスニ
 ヲ辨證ノ考ト云
 演繹ハ形質ヲ
 得タル實跡ヲ主
 トシ
 ソレヨリノ屬性
 ヲ引カス
 十九葉ノ左
 右ヲ見ル

歴下リテ上リテノ
 屬性ヲ
 仁義ノ性ヲ
 備
 ハ道徳ニ依
 テ勤ク或
 ハ肉教并ニ
 食ヲ性ヲ
 具フナド種
 々ノ屬性
 出テテコレ
 モ人ノ分
 内ナリコレ
 モ人ノ分
 リト云フユ
 直自ラ人ト
 云
 主位ノ内ノ
 廣クテ
 屬人トシテ
 考
 屬人ノ念愈
 増
 定ルト云フ
 又
 即内包ノ
 考テ

ヘク、屬位ノ言ハ、類名ニテ、上行ナルヘク、譬ハ、
 牛ハ獸ナリ、獸ハ動物ナリト言フヘクシテ、獸ハ
 牛ナリ、動物ハ獸ナリト言フヘカラサルカ如
 シ、又カク類名ノ主位ヲ、種名ノ屬位ニ、套挿スヘ
 カラサル耳ナラス、同行ニテハ、必シモ、屬位ニ取
 ルヘキ理リナシトス、譬ハ、魚ハ鳥ナリ又梅ハ
 櫻ナリトハ、絶ニテ考フヘカラサルカ如シ、是此學
 ヒノ、本分ナル法ニテ、カクセガハ辨證ノ考ヘニ用テ
 ガタカレ、ハ前ニ舉タル主位ヨリ、屬性ヲ鈎
 引シテ屬位トナスヲ鈎引ノ運用、又演繹 [deduce]

歴下リテ上リテノ
 屬性ヲ
 仁義ノ性ヲ
 備
 ハ道徳ニ依
 テ勤ク或
 ハ肉教并ニ
 食ヲ性ヲ
 具フナド種
 々ノ屬性
 出テテコレ
 モ人ノ分
 内ナリコレ
 モ人ノ分
 リト云フユ
 直自ラ人ト
 云
 主位ノ内ノ
 廣クテ
 屬人トシテ
 考
 屬人ノ念愈
 増
 定ルト云フ
 又
 即内包ノ
 考テ

人ヲ本トシ外ニコノ人
ト云フモノハ性ヲ具ヘ
テ中ル者ヲボメテリ
者ヲアラス所ノ名ヲ
知延ナリ
又人ヲ本トシ内ニ就テ
ソ具ヘテ中ル性ヲ求
メテコレヲ具ヘテ
キルエエゴノ者ヲ人ト
名付クトセバコレ内包
ナリ

口外延内包ニツク中
外延ノ考ハ度量觀
ニテ重ク命題ノ上ニ
係ル

コノ支意ヲ推スニスベテ致知ノ辨ノ上ニ於テ度量觀即チ全特ノ標ヲ用キルハ外延ノ考ニヨリテ
思ハル然レニ此篇ノ末ニテ外延ノ考ハ全称ニ成ルチ多ク又内包ノ考ハ特稱ヲ用キルチ常ナリ辭ハ
凡ソノ動詞ハ係性辭ナリト云ハ外延ノ考ニテ或生物ノ身ナリト云ハ内包ノ考ナリトアルハイフカレ



右ノ如ク刃物ヲ以テ上
行中ノツノ物ト見ル
内包ナリ又下行層
物ノ總名ト見ル外延
ナリ而シテ其ノ考ハ
内包外延何レモアル
其ノ極ガ一ツ出タル上
即チ度量觀ノ物ト
見ルナリ

移リテ之ヲ言ノ内包「Comprehension」ト名ク譬
ヘハ人ヲ言フ言ヲナヘテ日本人支那人天竺人西
洋人ナトアルトアル五洲ノ入テ徴セリトレテ
見レハ外延ナリ又仁智ノ性ヲ備ヘ道理ニ依テ
動ク者ナリト見レハ内包ナリ又及物テ言ハテ
長カモ太カモ刀モ小カモ庖丁モト見レハ外延
ナリ唯物ヲ切ル者ナリト見レハ内包ナリ此ニ
ツノ考ヘテ中ニテ外延ノ考ヘハ即チ度量觀ニ
テ動ク命題ノ上ニ係ハルコトナリサレハ此外
延ノ考ヘテ分チテ三ツトナシ各其標シテ加ヘ

人ト云フ語ニ
有テハ内包
ナリト見
ルナリ
人ト云フ語ヲ以テ
人ト云フ語ノ内ニ
含メルツノ属
性ヲアラススニ
テ用キルモノ
ト云フハ外延
ノ考ナリト云
フハ内包ノ考
ナリト云フカレ

テ之ヲ辨フヘシ是一ツニハ單稱ナリ我國ノ言
ニテハ一ツ言ヲ變ヘテ單稱ト複稱ト分ツ例
レナケレハ言一ツニテ物一ツヲ示サムト欲セ
ハ必ス下ニ一ツテ言又上ニ指斥言ノ此テフ
言ヲ加フヘシ然為サレハ全称ニ成ルチナリ譬
ヘハ星見ス星一ツ見ユナトノ如シ又イト定カ
ニ言ハサル時ハ或テフ言ヲ冠ラスモ可ナリ二
ツニハ複稱ナリナヘテ二ツヨリ上ツカタヲ示
ス時ナリコハ其量リテ大方ニ謂フ時ハ亦或テ
フ言ヲ蒙ラスヘシ又二ツニ分チ僅カナル多ク

其外延ヲ定ムル 譬ハ人ト云フ語ヲ日本ノ支那人西洋人其外延ヲ人ノ印ト見テ(中略)ト云フ語ノ中ヲ引クテテ示スナリコレ外延ノ大キカラ撤カレテ也

凡テノ生物ハ機性類ナリト云ハ此ノ生物ト云フ極ハ其ノ下行ナル人獸鳥虫ト云フ集リテナリタルモノニテ凡テノ人獸鳥虫等ノ者ハ皆機性類ナリト云ハ分如レ故ニ此ノ生物ト云フ極外延ノ考ナリ

命題

或生物ハ鳥ナリト云ハ此ノ生物ト云フ極ハ其ノ

ハトテテフ言ニテ其外延ヲ定ムヘシ 譬ヘハ多クハ人ノ僅カナル水ナトノ如シ三ツニハ全称ナリコハナヘテヲ舉ル称ニテ言一ツ用ヒテ譬ハハ山ハ高キ者ナリ鳥ハ飛フ者ナリナト言テ知ラルナリナルニ是ヲハ今チテ二種トナレ前ノ如キヲ泛称[indefinitive]ト云ヒアラユル悉クテフ意口ニ見ルヲ分称[definitive]ト謂フ然レ是ハ約マレ所同シヨトニテ此學ヒニテハサマテ拘ハルニ及ハス唯命題ニテハ明カニ全称[universal]ト特称[particular]トヲ示スカ為

西先生又曰ステ主位ニ全称ヲ用ヤルトキハ其ノ極ハ下行ノ種名ヲ總括シタルモノナリテ其命題ノ上ニテ主位ノ方重トナルナリ又特称ヲ用ヤルトキハ其極ハ属性ノ假ニ上行ト見ル中ノ一ツノ名トナリテ其ノ命題ノ上ニテ属性ノ方重トナルナリ

属性ナルニ足兩翼ヲ具ヘタルト云フヨリ成リタルモノニテ恰モ二足ノ兩翼ヲ具ヘタル物ノ中此物ハ鳥ナリト云フ如シ即チ此ノ主位ト云フ極ハ其ノ極ハ属性ノ假ニ上行ト見ル中ノ一ツノ名トナリテ其ノ命題ノ上ニテ属性ノ方重トナルナリ

下行ノ主位ト云フ極ハ其ノ極ハ属性ノ假ニ上行ト見ル中ノ一ツノ名トナリテ其ノ命題ノ上ニテ属性ノ方重トナルナリ

全称ニハ下ニ何レモ又用フルコトニ定メツテトナヘテスヘテ皆悉ク各ナト拘ハルコトニアラス唯度量如何ト見ルハキ耳又度量ノ称ナクトモ演題[apologism]ニテハ斷言[conclusion]ト極ハ常ニ此テフ意口ニテ老約ハナヘテテフ意口ナルヘシナヘテ外延ノ考ヘハ全称ニ涉ルコト多ク又内包ノ考ヘハ特称ヲ用フルコト常ナリ譬ヘハ凡テノ生物ハ機性類ナリト云フハ外延ノ考ヘニテ或生物ハ鳥ナリト云フハ内包ノ考ヘニテ或生物ハ鳥ナリト云フハ機性類ニテ

或生物鳥也 其外延ヲ定ムル 譬ハ人ト云フ語ヲ日本ノ支那人西洋人其外延ヲ人ノ印ト見テ(中略)ト云フ語ノ中ヲ引クテテ示スナリコレ外延ノ大キカラ撤カレテ也

世ノ物ト云フ語ニテ其外延ヲ定ムル 譬ハ人ト云フ語ヲ日本ノ支那人西洋人其外延ヲ人ノ印ト見テ(中略)ト云フ語ノ中ヲ引クテテ示スナリコレ外延ノ大キカラ撤カレテ也

犬モ、彼、犬モ、其犬タルハ、同シク、吾、兄モ、汝カ兄モ、其兄タルハ、同シトス、譬ヘハ真一ニテハ、此イハ
 イナリ、此イハ彼イニ非ルナリト云ヒ、致知ノ本
 疆ニテハ、イハロナリ、イハハニ非ルナリト謂フ
 カ如シ、今ハ此本疆ノ内ニテ、其同異ヲ求ムルヲ
 謂フナリ、譬ヘハ、前ノ題ニテ言ハ、牛ハ、獸ナリ
 テフハ、牛テフ念ト、獸ノ一類テフ念トハ、形質ヨ
 リ觀テモ、度量ヨリ觀テモ、同一ナリト見、又相表
 裏ニテ「牛ハ啖肉族ニ非ルナリ」テスハ、牛テフ念
 ト、啖肉族テフ念トハ、如何ニシテモ、同一ナラス

ト見ルナリ之ヲ同。[identity] 不同。[non-identity]
 ノ辨ト云フハ、イハロト同一ナル者ニテアリ又
 イハハト不同一ノ者ニテアリト定ムルコトニ
 テ、又可考不可考。[consistence and non-consistence]
 〇ノ決トモ、謂フナリ、サテ上ニ、種々舉タル法ニ
 從ヒ、心ヲ運ヒタルハ、皆意テフ者ヲ假リテアル
 ハ、カニ為ムト欲シアルハ、カク為ムト欲シテ、已
 カ心ヲ以テ、已、心ヲ運ヒツレト、今トアル主位ノ
 極ヨリ、其屬質ヲ、鈎引シテ、之ヲ彙類ノ法ニカケ
 テ、上行ヘ上レ、下行ヘ下シタル際ニ、臨ミテ同一

始々演繹、法ニテ属性
 ヲ鈎引レテ有トシカ
 鈎引レ命題ニ用テ
 上トキ下ノ属係其
 主位ノ上行トナレ
 べきナリ

及口及之 二九

ナリトカ、不同一ナリトカ、又カクハ、考フヘシト
カ、シカハ、考フヘカラストカ、ニツニ分チタルヲ、
言ニ顯ハシテ、肯定ニテナリ、否定ニテニ非ルナ
リト、斷ハルナリ、此運用ヲナム、決ト云ヒ、又言ニ
表ハシタルヲ、定説 [*definition*] ト云ヒ、其言ヲ定言
ト謂フナル、サルニ、此際ニ臨ミテ、自ラニ、ニツニ、
分ル、ハ、己、カ意ノ、能、命セ使フ所ニアラテ、吾ナ
カラ、吾、心ニ任セヤラテ、吾知ラズニ、出ツル者ヲ
理性 [*reason*] トナム云フナリ、此理性コノ、天ノ吾
人ニ、與ヘタル靈智 [*intellect*] 性ニシテ、自ラ昧

マシ、自ラ欺クコトヲ、得サル者ニテ、人ノ世ニ、イ
トモ重キ司サテ、勤ムル者ナレ、ソハ生性發蘊ニ、
宗トシ論ヲフ所ニシテ、爰ニハ言ハス、サテ、理性
ノシカニテアリ、又シカニハ非ズト、極ムルヲ、此
學ニテ、莫逆嘉納 [*non contradiction*] 法ト
云フ、言フ心ハ、アリト定ムルモ、アラズ定ムルモ、
カノ理性ノ隨ニシテ、少シモ疑ハル所ナキナリ
此法ヤ、唯一ツ、然シテ、之ヲ開イテ三ツノ單元 [*axiom*]
ヲ立ツ、一ツニハ、肯定ノ定説ハ同一ナリ
ト定ム、屬位、主位ト、同一ナリト定メサレハ肯定

ノ題ハ考フヘカラシルコト、譬ヘハ、
 テフカ如シ、ニツニハ、否定ノ定説ハ不同一ナリ。
 ト定ム、属位、主位ト、不同一ナリト、定メサレハ、否
 定ノ題ハ、考フヘカラサルコト、譬ヘハ、
 非ルナリノ如シ、三ツニハ、一ツノ念ヲ、主位トナ
 シ、他シ念ヲ、属位トナシテ、二ツノ者ノ相係ハル
 考ヘハ、必ス肯定ト、否定トノ中、其一ツニヲ、
 肯定ト、否定トノ中間ニ、在ルコトナシ、譬ヘハ、
 ハ、口ナリ、然ラサレハ、必ス口ニ非ルナリ、
 如シ、此三ツノ單元、莫逆嘉納ノ單元又開キカ

ル者ニテ、素ヨリ分チ考フヘカラサル者ナリ、舊
 クハ、分タサルヲ、良シトシケレトモ、近頃ノ大家
 ハ、多ク之ヲ分テリト云フ、内ニモ、最後ノ單元ハ、
 其カイト強ク、其用ヒ極メテ大イナリ、學者能ク
 心スヘキコトナリカシ、サテ、爰ニ至ルマテハ、致
 知學ノ觀察上ニ、涉ル者ニテ、所謂學ニ附キタル
 所ナリ、後ノ篇ハ、術ニ涉ル所ヲ論ラヒナム

+

牛ハ獸ナリト云フ命題ニ就テ考フルニ先牛ハ獸トノ定義ヲ
為スベレ則牛ハ有皮モアリテ^{性質}温
柔ニシテ耕作ノ用ヲ為ス牛ノデレニヤ
者ナリ獸ハ皮モアリ四足
アリ道理ヲ知ラヌ者ナリ

牛 皮モアリ四足アリ道理ヲ知ラヌ
温柔ニシテ人ノ用ヲ為ス

馬 皮モアリ四足アリ道理ヲ知ラヌ
能ク重クヲ負フ

羊 皮モアリ四足アリ道理ヲ知ラヌ
毛能ク織物用トス

犬 皮モアリ四足アリ道理ヲ知ラヌ
能ク家ノ番ヲ為ス

猫 皮モアリ四足アリ道理ヲ知ラヌ
能ク鼠ヲ捕ル

太政官

今假リニ獸ハ牛馬羊犬猫ノ五ツヲ概括せん名トスレバ此五ノテ
アレシヤヲ去リ其エッセレヤヲ集メタル者トナリ而メ牛ハ獸ナ
カト云フハ牛ノデレレヤヲ去リ其コムニムケレクマツトクゴトノ馬
羊犬猫ト相同レキヲ以テ其等ノ部類ノ者ナリト定断スルコトニテ
此ニ獸ト云フ名ヲ用牛ハ唯便利^カチ為スワケナリ

念ニ^{種類ノ考ト}形質ノ考ト^{両方ヲ含ムケレト}命題ハ必ス^{両方ヲ含ム者}
トハ思ハレズ必ク一方ノ考ヲ生スル者アルベシ

西 周 著

明 治 七 年
九 月 發 兌

至 文 知 殷 蒙

全 二 冊

甘 霖 舍 藏 梓